

開倫塾のミッション・教育目標は、①自己学習能力(自覚をもって学ぶ力・自分から進んで学ぶ力・主体的に学ぶ力)の育成、②高い倫理、③高い学力、④高い国際理解です

開倫塾
塾長 林 明夫

Q 1 : 開倫塾のミッション・教育目標は何ですか。

A : 開倫塾のミッション・教育目標は、次の4つです。

- ①「自己学習能力(自覚をもって学ぶ力・自分から進んで学ぶ力・主体的に学ぶ力)の育成」
- ②「高い倫理」③「高い学力」④「高い国際理解」

*今こそ、この4つのミッション・教育目標の達成を目指し、開倫塾で学んでいただきたいと希望します。そこで今回は、それぞれの内容をご説明いたします。

Q 2 : 「自己学習能力」とは何ですか。

A : ①「自覚をもって学ぶ力」②「自分から進んで学ぶ力」③「主体的に学ぶ力」

Q 3 : 「高い倫理」とは何ですか。

A : ①「ルールの中でプレイする」②「フェアプレイ」③「卑しいことはしない」
④「相手の立場に立って行動する」⑤「高い志」

Q 4 : 「高い学力」とは何ですか。

A : ①「高い志、自覚をもち、主体的に学ぶ力」
②「知識・情報・技術を用いる力」
③「高度な読解力、思考力、表現力」
④「ワード・エクセルの基本操作習得」は不可欠です。

Q 5 : 「高い国際理解」とは何ですか。

A : ①「多様な集団で活動できる力」
②「相手の立場をゼロベースで理解できる力」
③「自分の立場や意見をわかりやすく伝えることのできる力」
④「英語によるコミュニケーション能力」は不可欠です。

Q 6 : よくわかりました。ところで、このようなミッション・教育目標の下、開倫塾で学んでいる塾生の皆様に目指していただきたいこと(特に、職業・仕事)は何ですか。

A : 自分の得意な分野、やってみたい様々な分野で、「高度プロフェッショナル人材」として、世のため、人のため、自分のために活躍・仕事をすることです。

Q 7 : 例えば、どのような方が「高度プロフェッショナル人材」なのですか。

A : (1)「高度プロフェッショナル人材」の代表として、すぐに思いつくのは、アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏です。
(2)スマホが大好きな方、特に、アップル製品のアップルウォッチや iPhone、iPad、マックなどをお使いの方は、是非、スティーブ・ジョブズ氏の「伝記」を、時間をかけてじっくり何回かお読みください。
(3)①インドのヨガの経験、日本のものづくりを生かし、見えないところまで、ていねいに、美しく、心を込めて設計・製造。
②お客様の使いやすさを考え、絶対に手を抜かない、妥協しないものづくり。
③スティーブ・ジョブズ氏から、「高度プロフェッショナル人材」の「精神」を学びま

しょう。

Q 8 : 「高度プロフェッショナル人材」は、どのような分野で活躍しているのですか。

A : 世の中をよく見れば、「高度プロフェッショナル人材」は皆様の周りにたくさんいます。

(1) 朝起きて学校まで歩いて行く間にも、「高度プロフェッショナル人材」の活躍が見られません。

① 舗装された道路自動車が走りやすく、人が歩きやすい道路、大水が出ても水浸しにならない道路。

② 美しく整備された街並み、上水道、下水道、並木道、停電の極めて少ない電力供給システム、ガスの供給システム。

③ 犯罪が極めて少ない社会。ほぼ時間通りに来るバスや電車。少し大きな地震があると、電車や新幹線を安全のために停止させる信号システム。これらをつくるのは「高度プロフェッショナル人材」です。

(2) 生命の危機にも対応できる大きな病院(急性期の病院)には、「高度プロフェッショナル人材」が山ほどいます。医師(様々な専門分野に分かれています)、看護師、薬剤師、栄養士、レントゲン技師、理学療法士。このほか、数え切れないほどの「高度プロフェッショナル人材」がいるのが、急性期の病院です。

(3) ① 霞が関の各省庁、都庁・県庁、区役所・市役所・町役場・村役場などの公務員の世界も「高度プロフェッショナル人材」の宝庫です。

② 裁判所、警察署、検察庁、刑務所、消防署、自衛隊、海上保安庁、営林署など、様々な官庁も「高度プロフェッショナル人材」の活躍の場です。

③ 農業、林業、水産業、鉱工業、自動車産業を含むありとあらゆるものづくり、金融・証券、ホテル・観光、情報・教育などのサービス産業も「高度プロフェッショナル人材」なしでは成り立ちません。

Q 9 : これからの世の中で活躍するために、お奨めの資格は何ですか。

A : (1) 各職業に就くのに必要な資格は必ず取得することが第一です。

(2) 3 大検定(英検・漢検・数学検定) 準 2 級、できれば 2 級は必須です。社会人になってからも、各 2 級合格を目指していただきたいと思います。

(3) エンジニアを目指す方は、エンジニアとして最高レベルの国家資格「技術士」を目指すことをお奨めします。

Q 10 : 最後にお聞きします。これからの日本で一番必要とされる「高度プロフェッショナル人材」は何ですか。

A : (1) ズバリ、半導体の研究・開発、製造を担当する「高度プロフェッショナル人材」です。

(2) 身の回りにあるほとんどすべての電気製品、自動車、ドローン、PC、スマホ、タブレット、新幹線・医療機器などは、半導体なしでは動きません。

(3) ① 半導体の製造は、台湾が 66 %、韓国が 16 %、中国が 8 %と、この 3 か国で世界の 9 割以上を占めています。

② もし、ロシアによるウクライナ侵攻と同じように、中国が台湾を侵攻すると、世界の生産はストップしてしまいます。

③ そこで、アメリカ・日本・EU をはじめ、世界各国では自国開発の半導体づくりを目指し、半導体の工場をつくり、人材育成を開始しています。

* これから求められるのは、半導体関連の「高度プロフェッショナル人材」です。半導体関連の「技術士」です。

是非ご挑戦ください。

2022 年 6 月 13 日(月) 10 時 35 分